

報道各位

人気ラジオ番組がDVD化！40時間に及ぶ“絵のないDVD”！
『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』6月10日(水)発売！
「WONDERFUL WORLD」で鈴木敏夫出演の特集企画放送

スタジオジブリ・プロデューサー鈴木敏夫がパーソナリティを務めるレギュラー番組「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」(毎週日曜23:00~23:30、JFN系全国38局ネットで放送中)は、6月10日(水)、鈴木氏と豪華ゲストによる番組での対談を再編集した“絵のないDVD”『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』を発売いたします。映像媒体ではないラジオ番組が、DVD化されるのは異例のことです。

「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」(2007年10月放送スタート)は、スタジオジブリの鈴木敏夫が初のラジオパーソナリティを担当していることで話題のラジオ番組です。鈴木氏の隠れ家・通称「れんが屋」で主な収録を行うという、従来のラジオ番組とは一線を画した手法で制作。各界の著名人らを毎回ゲストに迎え、クリエイティブの裏側・苦労話といったクリエイター同士ならではの“汗まみれ”な現場の本音を、独特の“鈴木節”に巻き込みながら聞き出していく番組です。番組は、同局のポッドキャストでも人気Best3にランキングされるなど、好評を博しています。

今回発売するDVDには、番組で放送してきた鈴木敏夫と総勢76名に及ぶ豪華ゲストとの対談を収録。阿川佐和子、浦沢直樹、太田光代、大橋のぞみ、押井守、落合博満、村上隆、リリー・フランキーといった著名人のみならず、広告代理店社員、新聞記者、タクシードライバーなどの一般人、さらにはジョージ・ルーカス、スティーヴン・ソダーバーグまで、様々な各界の人々と鈴木氏が交わした言葉の数々を、番組未放送トークも含め、40時間以上にわたり収録しています。トーク中の映像は「レンガ」の静止画像で構成。人々の集う「れんが屋」で共に話を聞いているかのような感覚を呼び起こします。そして、印象的な言葉たちが“99の言葉”として鈴木プロデューサー直筆の文字で表示され、不安な時代に生きる人々に元気を贈ります。

番組HPではWEB掲示板「試写室 れんが座」(<http://www.tfm.co.jp/asemamire/rengaza/>)を開設し、モニターリスナーによるDVDの感想を公開中。発売当日の6月10日(水)には、TOKYO FM渋谷スペイン坂スタジオから公開生放送の同局「WONDERFUL WORLD」(16:00~18:55/東京ローカル)に、鈴木敏夫が生出演。『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』とスタジオジブリの特集企画を放送します。

記

<DVD発売記念 TOKYO FM スタジオジブリ特集企画について>

- 【放送番組】「WONDERFUL WORLD」
- 【放送日時】6月10日(水)16:00~18:55(TOKYO FM渋谷スペイン坂スタジオより公開生放送)
- 【パーソナリティ】小山ジャネット愛子
- 【ゲスト】鈴木敏夫、服部准(「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」番組ディレクター)
- 【内容】鈴木敏夫氏本人と番組ディレクター服部氏が、DVD『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』について語る他、同日発売のDVD2作品『三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー作品 動物農場』『ジブリの風景 宮崎作品が描いた日本 宮崎作品と出会うヨーロッパの旅』についての情報も紹介いたします。

<DVD『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』について>

- 【商品名】 鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉<DVD/セル用のみ>
【発売日】 2009年6月10日(水)
【発売元】 ウォルト・ディズニー・スタジオ・ホーム・エンターテイメント
【ブランド】 ジブリがいっぱいCOLLECTIONスペシャル 2009年製作/カラー/本編40時間以上
【価格】 3,990円(税込) 3,800円(税抜)
【商品仕様】 片面2層/ピクチャーディスク/MPEG2/NTSC、日本国内向け(リージョン2)/複製不能、マクロビジョン
【画面サイズ】 16:9 ビスタサイズ
【音声】 日本語(2.0chステレオ/ドルビーデジタル)
【字幕】 なし
【収録ゲスト】 阿川佐和子、浦沢直樹、太田光代、大橋のぞみ、押井守、落合博満、渋谷陽一、CHAGE、中村正人、久石譲、村上隆、矢野顕子、行定 勲、吉岡秀隆、リリー・フランキー、ジョージ・ルーカス、スティーヴン・ソダーバーグ 他(順不同・敬称略)

※このDVDは音声を長時間収録した作品です。画像は静止画で構成されています。

2007年10月から始まったラジオ番組『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』。夜毎れんが屋に集う人々と鈴木さんとの会話をお届けしてきました。僕はこのれんが屋の夜をたまに再生することがあります。心の森に迷ってしまった時、鈴木さんの言葉や笑い声が、コダマのように迷子を道へ帰してくれるからです。そんなふうに、ときどき森に迷い込んでしまう人のために、この『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ 九十九の言葉』を編みました。これは、ひとりのラジオディレクターが聴いた、鈴木敏夫さんの一期一会の対話の記録です。ラジオではオンエアできなかったお話も含め、およそ40時間の語らいを、DVDという巻物のなかに収めました。聞いてゆくと、この不安な世界を歩くための99の言葉がみちしるべのように現われます。絵のないDVDですが、見えないからこそ届く言葉があると信じます。あなたの部屋に、れんが屋のあかりを灯してください。

『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』ディレクター 服部准

■鈴木 敏夫 (すずき としお)

株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。1948年名古屋市生まれ。72年慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店に入社。『週刊アサヒ芸能』を経て、78年アニメーション雑誌『アニメージュ』の創刊に参加。副編集長、編集長を12年あまり務めるかたわら、84年「風の谷のナウシカ」、86年「天空の城ラピュタ」、88年「火垂るの墓」「となりのトトロ」、89年「魔女の宅急便」など一連の高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。85年にはスタジオジブリの設立に参加、89年からスタジオジブリの専従に。以後、91年「おもひでぽろぽろ」、92年「紅の豚」、94年「平成狸合戦ぽんぽこ」、95年「耳をすませば」、97年「もののけ姫」、99年「ホーホケキョ となりの山田くん」、01年「千と千尋の神隠し」、02年「猫の恩返し」「ギブリーズ episode2」、04年「ハウルの動く城」、06年「ゲド戦記」、08年「崖の上のポニョ」のプロデュースを手がける。その他に、実写作品「式日」(00年・庵野秀明監督作品)、三鷹の森ジブリ美術館(01年開館・東京都三鷹市)のプロデュース、押井守監督の「イノセンス」(04年・プロダクションIG作品)の共同プロデュースなども手がける。著書は『映画道楽』(05年・ぴあ刊)、『仕事道楽 スタジオジブリの現場』(08年・岩波書店刊)。

■服部 准 (はっとり じゅん)

フリーラジオディレクター。1957年東京都生まれ。TOKYO FMの「ジェットストリーム」をはじめ、ラジオ番組の構成演出を手がける。これまでに宮沢章夫、あがた森魚、いとうせいこう、桑原茂一、北野武、松任谷由実らとのレギュラー番組を製作。

■『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』

スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーが、“れんが屋”と呼ばれる隠れ家に、夜毎ゲストを迎えて贈るラジオ番組。この番組ならではの、クリエイティブの裏側や苦労話を聞くことができる。

◇毎週日曜日 23:00~23:30 TOKYO FMほかJFN系38局ネットで放送中

◇番組HP <http://www.tfm.co.jp/asemamire/>